

工作機械の稼働状況をリアルタイム把握 ～直方精機株式会社のIoT導入事例・生産性UPに向けて～

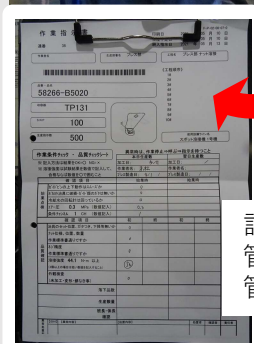


藤永 勝巳社長

当社は自動車部品の製造を行っています。
今回の取り組みは、生産部品に関するさまざまな情報を、離れた場所にいる経営者もリアルタイムに把握したいと考えたことがきっかけです。



本日の報告です！



記録用紙を使って
管理者へ報告。この後、
管理者が経営者へ報告。

リアルタイムに状況 が分かるのは現場だけ *Before*

現場の状況や工作機械の異常発生などについて経営者が現場からの報告を受けて対応に取り掛かるのではタイムラグが生じ、経営に影響が出てしまう可能性があると考えました。また、記録不備などにより原因不明の不良が発生することが大きな問題となっていました。

生産管理情報を無線で送信



ゲートウェイPC



PLC

After

経営者がリアルタイムに 稼働状況を把握し 素早い対処が可能！！

工作機械の稼働状況を瞬時に把握できるようになり、計画通りに作業が実施されているか確認できるとともに、問題が生じた場合には適時対応ができるようになりました。

また、異常がなぜ、いつ発生したのかについては、記録データを見ることで、生産停滞の理由・不良の理由を把握でき、素早い対処ができています。

現場から離れていても、
リアルタイムに
モニタリングできるぞ！



管理室でモニタリング中



今後はタブレットでも
管理する予定

今後は全機に装置を搭載し、集めたデータを分析して、生産管理だけでなく労務管理などの経営判断にも活かしていきたいです。